

武豊町地域公共交通会議 第28回 議事録

日時：平成30年3月13日（火）

10:00～11:30

場所：全員協議会室

○司会（防災課長）

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第28回会議を開催させていただきます。
- ・それでは、会議資料の次第に従いまして、取り進めさせていただきます。
- ・はじめに、開会にあたりまして、会長であります、初山芳輝武豊町長よりごあいさつさせていただきます。

1. 会長あいさつ

○初山町長

- ・おはようございます。
- ・ご多忙の中武豊町地域公共交通会議に参加いただきありがとうございます。
- ・また、平素はそれぞれのお立場から町政にご協力頂き感謝申し上げます。
- ・コミュニティバスの利用実態について報告させていただくと、昨年1年間で54,005人の利用があり、4,992人、約1割の増加があります。地域の生活の足として着実に定着していると思います。
- ・皆さんの提言によりましてよい事業になっており、使い勝手をふくめて友の会などの対応により、利用が伸びています。他市町との情報交換も行い、利便性の向上を進めたいと考えています。
- ・また、3月議会でも公共交通網形成計画などについてご質問いただき、関心の高さを確認しています。
- ・本日の議事ですが、報告事項2件、議案4件を予定しています。
- ・皆様からの忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

○司会（防災課長）

- ・新しく委員となる方に委任状をお渡ししたい。長尾部長の平野康三様。富貴地区会長の田中敏春様。加えて、大足区長の牟田様が新しい委員だが、今回は代理で後藤副区長にご出席頂いている。
- ・委任状を6名の委員の方からいただいており、代理出席していただいております。3名の委員の方から欠席の報告を受けておりますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規約に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。

2. 議事

●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○伊豆原座長

- ・議事を進めさせていただきます。
- ・報告事項1の「武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績」につきまして、事務局から説明をお願いします。

○事務局説明

○伊豆原座長

- ・利用実績の説明をうけました。ご質問、ご意見ありますか。よろしいですか。
- ・利用は増加しています、町民の足となっていますが、利用率の伸び悩みがある。利用促進のため、改善の検討を行うという説明がありました。
- ・確認いただいたとして、次の議事に移ります。

●報告事項2 南部青ルートバス停留所別利用実績について

○伊豆原座長

- ・事務局より説明をお願いします。

○事務局説明

○伊豆原座長

- ・青ルートの実績について報告を受けました。ご質問、ご意見がありますか。
- ・市原農村広場停留所については、次の議事で検討します。
- ・無いようなので、確認いただいたとして次の議事に移ります。

●第1号議案 南部青ルート「市原農村広場」停留所の位置変更について

○伊豆原座長

- ・事務局より説明をお願いします。

○事務局説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。
- ・市原農村広場停留所位置の変更について、提案をいただきました。ご意見、ご質問がありますでしょうか。

○南賢治委員

- ・名称の変更はしないか。

○事務局

- ・名称の変更はしない。変更すると車内アナウンスなどの変更に伴う費用が発生するため。

○塚崎委員代理（愛知県）

- ・質問ではないが、意見として発言したい。停留所の変更について地域で協議していただき変更することはよいことだと思う。この変更による利用者の動向や意見などを確認・分析していただくと共に、その後の利用促進等に活かしてもらいたい。

○事務局

- ・変更後の動向は見極めていきたい。

○伊豆原座長

- ・4月2日の変更を予定。愛知運輸支局としてはどうか。

○広瀬委員代理（愛知運輸支局）

- ・手続きとしては問題ない。

○事務局

- ・資料には4月1日になっている。祭りのため運休であり、4月2日から運行。
- ・事務手続き上は4月1日に変更する。

○伊豆原座長

- ・よろしいでしょうか。
- ・異議ありませんか。無いようなので、全員の了承とします。

●第2号議案 北部赤ルート of 青山駅への乗り入れについて

○伊豆原座長

- ・事務局より説明をお願いします。

○事務局説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。
- ・10月1日の変更を目指す。6月に再度会議開催予定なので、そこで承認をいただく。今回は提案まで。半田市との協議を進めることになっている。

○後藤委員代理（大足区長）

- ・ルート変更は有効な措置ではあるが、北部ルートを現在利用している人の意見として、アンケートなどから、遠回りになるとの意見はないか。

○事務局

- ・青山駅の乗り入れについては、町長へのお手紙や平成25年度に実施した住民アンケート等でも要望があった。3月議会での一般質問でも議員からの要望がありました。
- ・どれだけ新たに利用者が獲得できるか不明だが、対応したい。

○南賢治委員

- ・延伸による時間は4分と設定している。帰りは信号が4つあり、時間的に大丈夫か。

○事務局

- ・ダイヤについては、バス車両を使って、運行テストを行った。その時も信号につかまっており、ゆとりある時間を設定している。

○木村委員（社会福祉協議会）

- ・青山駅からバス停までの案内が必要ではないか。駅を降りた方の案内について。

○事務局

- ・案内については、まだ検討できていない。名鉄と半田市と具体的に協議する予定。指摘の点について配慮したい。

○広瀬委員代理（愛知運輸支局）

- ・半田市の協議会でも協議をお願いしたい。
- ・半田市が再編実施計画の検討を行っている。再編実施計画に認定されると、事業は5年間変更できない。半田市でも青山駅に乗り入れるため、変更できない点を念頭に進めて欲しい。

○事務局

- ・半田市と調整しながら進める。

○伊豆原座長

- ・半田市がどのようにバス停を設置するのか、ロータリーに乗り入れるのか。半田市のバスとの乗り継ぎもある。ロータリーに入るための優先策もあるかもしれない。
- ・再編実施計画とは、民間バス路線もふくめて大幅に変更する取り組み。10月1日の変更を目指していると聞いている。半田市のネットワークとのリンクを考えておく必要がある。
- ・バス停位置は、半田市との協議中ということなので、位置は共有してもらおうよう考えて欲しい。路側に設けると、その前後10mは駐停車禁止になる。そうしたルールも考える必要がある。半田市の検討が進められているので、できるだけ情報を早くもらい、調整をお願いしたい。
- ・所要時間もロータリーに入ると、時間がかかるかもしれない。優先策などの配慮が必要。なるべく駅から近い場所が、雨天時、寒い時期など、待ち時間を考えると近い位置がよい。

○事務局

- ・半田市と密に情報交換し、次回6月の会議で、再度協議をお願いする。

○伊豆原座長

- ・前向きな検討なので良いこと。
- ・ご異議ありますか。無いようですので、全員の了承をいただいたうえで、進めたいと思います。

●第3号議案 平成31年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○伊豆原座長

- ・事務局より説明をお願いします。

○事務局説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。改善計画案ですが、これは6月が目途に国に申請する。10月からの補助金予算の申請を行う。そのため6月に協議を行う予定。
- ・今日は、事前確認の意味としての提案です。ご意見、ご質問ありますか。
- ・県では赤ルートは幹線系統として位置づけられるか。

○塚崎委員代理（愛知県）

- ・現時点では、赤ルートは幹線系統に位置付けられる見込みである。幹線系統は県の協議会で協議し国へ申請しているが、協議会は例年6月中下旬に行っている。5月末には県へ書類等をしていただくことになるので、幹線系統についてはその対応をよろしくお願ひしたい。なお、今回の場合、前の議題のルート変更にかかる調整事項の進捗状況にも考慮が必要だと思うため、状況に応じて、県にも早めに情報をいただきたい。こちらとしても柔軟な対応に努めたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

○平野委員

- ・利用するにはベンチの設置や雨の対応、駐輪場の設置などが重要。その点について聞きたい。

○事務局

- ・ご意見としてありがたい。ベンチを置ける場所とできない場所がある。ご理解いただきたい。

○伊豆原座長

- ・改善計画案には、添付資料の実績の報告をお願ひしたい。6月にはその点の報告をお願ひしたい。
- ・この資料を提出しないと補助金がもらえないので、補助要綱にしたがい、6月に再度ご意見を求めることになる。
- ・ここまでの報告についてよろしいか。ご異議無いようなので、了承頂いたとして進めさせて頂く。

●第4号議案 平成30年度事業計画案について

○伊豆原座長

- ・事務局より説明お願ひします。

○事務局説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。
- ・事業計画案について、ご意見、ご質問ありますか。

○南賢治委員

- ・乗合タクシーについて、壺町田ルートの利用が多い。どこまで増えたらバスの停留所を設置するのか。分岐点はあるか。

○事務局

- ・分岐点は設けていない。
- ・公共交通網形成計画の中で、市街化区域内に、バスをループさせ運行する計画としていた。

○南賢治委員

- ・市原農村広場停留所の利用は非常に少ない。一方の壺町田ルートは利用が多く、赤ルートを青山駅までいくまえに、壺町田を先行して対応しないとイケないのではないか。

○事務局

- ・ご指摘は理解している。
- ・乗合タクシーは、次期計画の中で、再編について考えたい。またバスの車両数もふまえて考えたいと思う。

○木村委員

- ・赤ルートは利用が伸びている。青ルートはそんなに変わっていない。
- ・青ルートの人口分布が違うのか。使いたいがルートの問題があるのか。利用が増えていないのは何か問題があるのではないか。
- ・住民への働きかけについて、示したら変わるのか。

○事務局

- ・大きな要因は、人口分布がある。生活様式も、南側は北部より自動車を利用する傾向が強く要因となっていると思う。
- ・地域にアンケートをとりながら、34年度に移行する次期3期の計画の中で、考えていきたい。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・バス2台でこれらの要望を満たすのは難しい。要望が増えることは良いことだが、2台では対応は無理。バスを増やす、予算を増やさないと無理だろう。

○事務局

- ・バスの台数を増やすには、大きな予算の変更要因になる。次期3期の検討の際に、しっかり議論をお願いしたい。
- ・それまでは軽微な変更の中で、利用促進を図っていきたい。要望は、次期計画検討調査のなかで検討をお願いしたい

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・バスを増やすのはそんなに簡単にはできないだろう。タクシーを活用すればよい。バスを補う形で、タクシーを使えばよいが、タクシーの料金は高い。補助を出してほしい。

○伊豆原座長

- ・たいへんよいご意見を頂戴した。33年までの期間の計画を策定している。
- ・計画内容を変えるには、33年に方向性を示す必要があり、後2年しかない。32年には検討し、

バスを増やすことが良いのか、タクシーを上手に使うのが良いのか整理すべき。

- ・名古屋では相乗りタクシーの仕組みが動き出した。デマンドタクシーの仕組みもある。いろいろなやり方がある。そうした情報を集めて、何がよいのか、勉強しないといけない。1年間はすぐにたってしまう。試算もしておく必要がある。次の改定に向かって早めに情報をつかんで、試算をしておく。目途をつけておく。事務局には大変ですが、情報を集めて作業を進めて欲しい。
- ・運輸局では、バス停のあり方の検討会をつくっている。年度内によいバス停の作り方という資料は報告されると聞いている。利用促進友の会によるベンチの設置などよい取り組みもある。
- ・いろいろ情報を集めて頂き、進めて欲しい。

○平野委員

- ・満足度の把握について、生活交通確保維持改善計画の満足度は何か。

○事務局

- ・平成 27 年の計画策定の際に、住民アンケート調査を行っている。利用者アンケートも行っている。その中で、満足度を聞いている。
- ・25 年度の調査時点では、運行頻度は 49.3%の人が満足と回答している。他にルートは 69.6%、バス停位置は 76.8%、バス停待機施設は 56.5%、定時性は 62.3%、ダイヤ設定は 44.9%、鉄道との接続性は 66.7%、運転手の対応は 78.2%、車内の快適性は 81.2%、運賃設定は 84.0%となっており、これらの項目について満足度を聞いている。

○伊豆原座長

- ・第三者評価委員会では、この満足度は、あやふやな部分がある点を指摘している。前回調査と比較して上がればよいということだけでなく、満足度が上がることで利用につながっているのかを確認することが重要。利用につながっていないとすれば何が要因か、それを確認することが大切。
- ・その他意見ありますか。
- ・事業計画案についてよろしいか。特にご異議無いようなので、全員の了承をいただいたとして進めます。

3. その他

●平成30年度利用促進事業の活動計画等について（利用促進友の会の活動計画）

○伊豆原座長

それでは、利用促進友の会の活動について櫻場委員よりご報告願います。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・高齢者の利用促進のため、いこいのサロンの終わった後にランチ、買い物を進めるツアーを行う。サロンは4箇所の内2回うまくいった。サロンの先にランチを楽しむツアーは利用が少なかったため、サロンの後にツアーを行うことを進めたい。6回程度行う予定。
- ・ゆめころんの日、5月6日を想定。子供たちの参加を呼びかけ、バスの展示に加え、消防車、パトカーなども集めて、楽しんでもらう企画を設定したい。
- ・産業祭りなどで、無料乗車券の配布も予定している。

- ・これまで設置したベンチが 20 個あるが、去年は青ルートで 10 個つくり直した。今年は赤ルートで 10 個つくる予定。
- ・利用した回数によるポイントから記念品を贈呈する企画もある。
- ・車内に写真、絵の展示会を、ギャラリー化することも予定している。
- ・ペーパークラフトが少しストックがあるので配りたい。缶バッジもつくる予定。
- ・これら取組みを 30 年度の事業計画として進めます。

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。利用促進友の会の活動について、報告がありました。
- ・ご質問等ありますか。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・予算 25 万円もらい、活動を行っている。もっともらえればもっとできる。

○伊豆原座長

- ・会長もいるので、耳に届いたと思う。情報発信いただき、皆さんの利用を促していただきたい。

●平成 29 年度第三者評価委員会での報告について

○事務局報告

- ・第三者評価委員会では、委員等からの指摘として、補助金が減少方向にあるが、その場合でも事業継続ができるのか。乗合タクシーの利用状況の分析から見直し対応などについて、意見を頂戴した。
- ・ゆめころんの日には、バスの展示に加えて、乗り方教室・利用説明会の実施も予定。すぐにバス台数が増やせないの、利用方法の周知を考えている。出前講座も実施している。

○伊豆原座長

- ・第三者評価委員会で評価結果について、正式な通達が支局よりあると思う。総じて評価は高かったと思う。

○平成 30 年度に実施する中間評価のスケジュールについて

○事務局報告

- ・計画に基づき事業を実施している。計画では 30 年度は中間評価の時期になっている。12 月の交通会議で報告できるように進めたい。評価内容は、6 月の会議で報告している。
- ・利用者アンケートは、利用促進友の会の協力を得て実施する予定。

○伊豆原座長

- ・事業計画にあった中間評価を行う。出前講座のようなことで、理解をしてもらって、行動に移してもらおう。委員の皆さんには、地元で話題にさせていただくことが重要。

○南賢治委員

- ・ラッピングした会社が問題となったが、その影響があるか。著作権の問題など。

○事務局

- ・バスのラッピングの著作権は町にあるため問題はない。

○伊豆原座長

- ・他よろしいか。
- ・無いようなので進行を事務局にお返しします。

4. 閉 会

○初山町長

- ・本日は長時間にわたり、貴重なご意見ありがとうございました。
- ・町民から利用が増えているとの声がある一方で、増便してほしいとの声も頂いている。利用しやすい事業に変えていきたい。
- ・第三者評価委員会でも、よいと評価をいただいた。
- ・改善の余地のある部分もあり、引き続き検討を続けていきたい。
- ・利用促進友の会の予算については、30年度は決まっているので、来年度の事業計画を先に考えてもらえればと思う。
- ・本日は長時間にわたりありがとうございました。

○事務局

- ・以上をもちまして「武豊町地域公共交通会議」の第 28 回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上